

平成19年6月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年4月27日

(コード番号: 6916 JASDAQ)

上場会社名 株式会社アイ・オー・データ機器

(URL <http://www.iodata.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 細野 昭雄

責任者役職・氏名 総務部部長 IR担当 山森 光久 TEL:(076)260-3377

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 法人税等の会計基準、その他影響額が僅少なものにつき、簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年6月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年7月1日～平成19年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年6月期第3四半期	46,964	△11.5	△269	—	△212	—	△897	—
18年6月期第3四半期	53,087	4.3	△743	—	△685	—	△912	—
(参考)18年6月期	70,087	2.9	△328	—	△336	—	△549	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
19年6月期第3四半期	△61.12	—
18年6月期第3四半期	△62.08	—
(参考)18年6月期	△37.39	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、このほど発表された日銀金融経済月報にもあるように好調な企業業績を背景に設備投資は依然として高い水準で推移しており、また雇用環境の改善も加速されたことによって個人消費は底堅く、景気は緩やかな拡大基調で推移しました。当社をとりまくパソコン業界におきましては、1月末に発売された新OS「Windows Vista」も発売元マイクロソフト社によると発売当初は今ひとつ盛り上がりには欠けた感がありましたが、発売から2ヶ月を経過して Vista 搭載PCも含め、「Windows XP」発売当初の売上ペースを上回る売れ行きになっているとの発表もあり、徐々にではありますがパソコン関連市場においても Vista 効果として、メモリ、HDD、横ワイド型液晶等が好調に推移してきており今後に期待がもてる四半期になりました。

このような状況下、当企業グループは期初からの「戦略とスピード」をテーマに加え、原価の低減、経費の削減、アイテム別強化製品を中心とした営業策で積極的に市場拡大に取り組んだ結果、増設メモリ部門において、主力のDRAMは512MBを中心にPC向けの搭載容量の増加需要があり、SDカードでは携帯電話向けにマイクロSDカードが好調に推移しました。また昨年末に相次いで発売したUSB接続ワンセグチューナー、PLC（高速電力線通信）等が四半期を通して順調に売上を伸ばしました。しかしながら製品全般的には売上高の減少に加え単価下落の影響で収益環境は依然厳しい状況にあり、前年同期と比較して売上原価で1.6%近い粗利率の改善効果はあったものの、当中間期の損失を大幅に改善させるには至りませんでした。このため当第3四半期までの業績につきましては、売上高469億64百万円（前年同期比11.5%減）、営業損失2億69百万円（前年同期は7億43百万円の営業損失）、経常損失2億12百万円（前年同期は6億85百万円の経常損失）、四半期純損失8億97百万円（前年同期は9億12百万円の純損失）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年6月期第3四半期	35,494	20,033	55.7	1,346.28
18年6月期第3四半期	40,467	19,535	48.3	1,329.79
(参考)18年6月期	34,121	20,649	59.8	1,389.40

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年6月期第3四半期	487	432	△511	4,334
18年6月期第3四半期	△2,882	△438	3,392	4,023
(参考)18年6月期	△2,314	△495	2,810	3,913

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末に比べ4億21百万円増加し、43億34百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は4億87百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加20億96百万円による資金増加と、税金等調整前四半期純損失3億10百万円、製品の安定供給を目的としたたな卸資産の増加11億6百万円による資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は4億32百万円となりました。これは主に、有形無形固定資産の売却による7億31百万円の収入及び有形無形固定資産の取得による3億11百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は5億11百万円となりました。これは主に、借入金の返済3億51百万円と、配当金の支払1億47百万円によるものであります。

【参 考】

1. 製品分類別連結売上高 (百万円未満切捨)

品目	平成19年6月期 第3四半期		平成18年6月期 第3四半期	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
増設メモリボード	11,362	24.2	11,365	21.4
ストレージ	13,618	29.0	16,244	30.6
液晶	10,522	22.4	14,193	26.7
周辺機器	8,161	17.4	7,149	13.5
特注製品	1,078	2.3	1,391	2.6
その他	2,222	4.7	2,742	5.2
合 計	46,964	100.0	53,087	100.0

2. 平成19年6月期の連結業績予想 (平成18年7月1日 ~ 平成19年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	62,700 <small>百万円</small>	△40 <small>百万円</small>	△875 <small>百万円</small>

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) △59円56銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当企業グループの売上高及び利益の通期予想につきましては、第4四半期(4-6月)においてもDRAM、SDカード、横ワイド型液晶、ワンセグチューナー、PLC等の周辺機器需要の売上が見込まれ、順調な業績が期待されることから、平成19年2月26日に公表しました業績予想と変更ありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○ 添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書など

以上

[添付資料]

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成19年6月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年6月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)				%	
I 流動資産					
1 現金及び預金	4,334	4,023	310	7.7	3,913
2 受取手形及び売掛金	14,637	15,582	△944	△6.1	14,643
3 たな卸資産	7,538	10,024	△2,486	△24.8	6,431
4 その他	2,464	2,591	△126	△4.9	1,223
流動資産合計	28,975	32,221	△3,246	△10.1	26,211
II 固定資産					
有形固定資産	4,371	5,112	△740	△14.5	5,087
無形固定資産	503	589	△85	△14.5	572
投資その他の資産	1,644	2,544	△900	△35.4	2,250
固定資産合計	6,519	8,245	△1,726	△20.9	7,910
資産合計	35,494	40,467	△4,973	△12.3	34,121
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	10,449	12,936	△2,486	△19.2	8,372
2 短期借入金	2,648	3,581	△933	△26.1	3,000
3 その他	1,524	3,298	△1,774	△53.8	1,420
流動負債合計	14,622	19,816	△5,193	△26.2	12,792
II 固定負債					
1 退職給付引当金	157	141	15	11.3	152
2 その他	681	735	△54	△7.4	526
固定負債合計	838	876	△38	△4.3	679
負債合計	15,460	20,692	△5,231	△25.3	13,472
(少数株主持分)					
少数株主持分	—	239	—	—	—
(資本の部)					
I 資本金	—	3,588	—	—	—
II 資本剰余金	—	4,308	—	—	—
III 利益剰余金	—	11,802	—	—	—
IV その他有価証券評価差額金	—	119	—	—	—
V 為替換算調整勘定	—	9	—	—	—
VI 自己株式	—	△292	—	—	—
資本合計	—	19,535	—	—	—
負債、少数株主持分及び資本合計	—	40,467	—	—	—

科 目	当四半期 (平成19年6月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年6月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年6月期
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
(純資産の部)				%	
I 株主資本					
1 資本金	3,588	—	—	—	3,588
2 資本剰余金	4,308	—	—	—	4,308
3 利益剰余金	11,120	—	—	—	12,165
4 自己株式	△293	—	—	—	△293
株主資本合計	18,724	—	—	—	19,769
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	55	—	—	—	65
2 繰延ヘッジ損益	1,003	—	—	—	590
3 為替換算調整勘定	△6	—	—	—	△14
評価・換算差額等合計	1,052	—	—	—	641
III 少数株主持分	256	—	—	—	238
純資産合計	20,033	—	—	—	20,649
負債、純資産合計	35,494	—	—	—	34,121

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成19年6月 期第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年6月 期第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年6月期
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
I 売上高	46,964	53,087	△6,122	△11.5	70,087
II 売上原価	42,041	48,407	△6,366	△13.2	63,197
売上総利益	4,923	4,679	244	5.2	6,889
III 販売費及び一般管理費	5,193	5,423	△230	△4.2	7,218
営業損失(△)	△269	△743	474	—	△328
IV 営業外収益	343	287	55	19.2	276
V 営業外費用	286	229	56	24.7	284
経常損失(△)	△212	△685	472	—	△336
VI 特別利益	156	0	155	22,043.5	5
VII 特別損失	253	5	248	4,801.6	30
税金等調整前四半期 (当期)純損失(△)	△310	△689	379	—	△361
税金費用	562	203	359	—	166
少数株主利益	24	18	6	32.3	20
四半期(当期)純損失(△)	△897	△912	14	—	△549

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年6月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年6月期 第3四半期)	(参考) 平成18年6月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△310	△689	△361
減価償却費	401	398	540
売上債権の増加額	△324	△2,282	△1,094
たな卸資産の増減額(△増加額)	△1,106	△2,510	1,082
仕入債務の増減額(△減少)	2,096	3,121	△1,454
その他	△116	△544	△665
小 計	639	△2,508	△1,953
法人税等の支払額	△190	△394	△399
その他	38	21	37
営業活動によるキャッシュ・フロー	487	△2,882	△2,314
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形無形固定資産の取得及び売却	419	△288	△380
投資有価証券の取得による支出	△9	△156	△157
保険契約による支出	△0	△0	△122
保険契約解約による収入	22	37	167
その他	0	△31	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	432	△438	△495
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△減少)	△351	3,561	2,979
配当金の支払額	△147	△190	△190
その他	△12	21	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△511	3,392	2,810
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	12	60	21
V 現金及び現金同等物の増減額(△減少)	421	131	21
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,913	3,891	3,891
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,334	4,023	3,913